

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	あり
----	----

応募概要	分野	舞踊	種目	バレエ
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	いっぽんしゃだんほうじん さだまつ・はまだばれえだん		
	制作団体名	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団		
	代表者職・氏名	理事長・貞松 融		団体ウェブサイトURL
				https://sadamatsu-hamada.fem.jp/
	制作団体所在地	〒	657-0822	最寄駅(バス停)
				神戸市バス 五毛天神駅
		一般社団法人 貞松・浜田バレエ団		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)
	制作団体 設立年月	1965年 3月		
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
		貞松 融(理事長) 貞松正一郎、堤悠輔、堀部富子、長尾良子、小西直美(理事)		団体構成員は【別添1(一社)貞松・浜田バレエ団 役員・メンバー】参照。 加入条件は役員の認証による。
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	貞松 正一郎
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	堤 悠輔
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		<a href="mailto:shb_junkai@shballet.or.jp">shb_junkai@shballet.or.jp</a>		0788612609

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1965年、貞松融を団長、浜田蓉子を副団長に神戸市で結成。クラシックバレエを基本にクラシック作品と創作作品を活動の両輪に公演を続けている。北京・上海公演、東京公演を含む公演総回数は1000回を超える。一方、創作作品は1980年より開催している《創作リサイタル》公演で上演を続け、団員や国内外の客演振付家による創作作品は200を超える。1977年より欧米各地また中国等で研修を重ね、海外の諸先達に師事するとともに、舞踊を通じて諸外国の人々との交流を深めてきている。</p> <p>2014年に一般社団法人となり、(一社)日本バレエ団連盟に加入。</p> <p>2022年、団長の貞松融が舞踊芸術の向上発展に寄与した舞踊家に送られる「第70回舞踊芸術賞」を受賞した。</p> <p>【主な受賞】</p> <p>1980年 第1回兵庫県教職員組合文化賞《芸術文化奨励賞》</p> <p>1982年 貞松正一郎:ローザンヌ賞</p> <p>1987年 昭和62年度《兵庫県文化賞》</p> <p>1991年 月刊「神戸っ子」第20回ブルーメール賞、平成3年度《神戸市文化賞》</p> <p>1998年 平成9年度《大阪舞台芸術奨励賞》</p> <p>2002年 平成14年度 神戸新聞平和賞《文化賞》</p> <p>2008年 貞松融・浜田蓉子:第34回 橘秋子賞・功労賞</p> <p>2011年 貞松融:文化庁長官表彰</p> <p>他、2006年、2012年に文化庁芸術祭大賞</p> <p>2009年、2017年、2019年、2021年に文化庁芸術祭優秀賞 など</p>	
	学校等における公演実績	<p>1967年に始まった学校公演は今までに700回以上。</p> <p>関西を中心に小・中・高の学校生の為の視聴覚教育の一環としての公演活動を精力的に続けている。</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>2014年6月 都立八王子東特別支援学校</p> <p>2015年6月 徳島県立徳島聴覚支援学校</p> <p>2017年6月 長崎県立川棚特別支援学校</p> <p>2021年1月 広島県立尾道特別支援学校</p>	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	<p>学校公演「白鳥」  <a href="https://youtu.be/WARDY1jwCjk">https://youtu.be/WARDY1jwCjk</a>            学校公演「動物」  <a href="https://youtu.be/vaW3SjO3DJU">https://youtu.be/vaW3SjO3DJU</a></p>	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

【公演団体名 一般社団法人 貞松・浜田バレエ団 】

<b>本公演</b> <b>従事予定者数</b> (1公演あたり) <b>※ドライバー等</b> <b>訪問する業者人数</b> <b>含む</b>	出演者:	21	名	<b>運搬</b>	積載量:	4	t
	スタッフ:	17	名		車 長:	5~6	m
	合 計:	38	名		台 数:	1	台

<div>本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール)の目安</div>	前日仕込		有		前日仕込所要時間		5	時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
	8時	8時30分～10時30分		10時30分 ～12時10分	10分	12時15分 ～13時30分	13時30分	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
<div>本公演 実施可能日数 目安</div> <div>※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。</div>	6月		7月		8月		9月	
	12日							
	10月		11月		12月		1月	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		12日
<div>本公演・ワークショップの内容</div>	<div>  </div>							
	<div> <div>舞台に必要な広さ 横10m以上 奥行5.4m以上</div> <div>           ◇舞台設置場所：ステージ            ◇緞帳の要否：要            ◇暗幕の要否：要            ◇ピアノ移動の要否：要            ◇トラック横づけ要否：要            ◇電源容量（主幹ブレーカー容量）：100A         </div> </div>							
	<div>  </div>							
	<div>  </div>							
	<div>  </div>							
<div>著作権、上演権等の許諾状況</div>	各種上演権、使用权等の許諾手続の要否			該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 一般社団法人 貞松・浜田バレエ団 】

ワークショップの  
ねらい

客席から本番の舞台(お化粧をして綺麗な衣裳を着て踊る姿)を鑑賞して頂くだけではなく、ダンサーの日常の見えない部分を大切に、「実はこの踊りの前にこんな練習をして、レッスン、リハーサルを重ねて踊っているんだ」というところを、解りやすく紹介するワークショップです。初めてバレエを観ていただく方にも、舞台芸術が完成するまでの過程を、より深く理解していただけるように、という意図です。  
また、実際に体を動かすことによって、生徒も先生も一緒になって、踊りの持っている楽しさを体験して頂き、人間本来の身体の素晴らしさを学びます。

児童・生徒の  
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

約100名まで

ワークショップ  
実施形態及び内容

- 【一時限目】
- ・芸術監督の解説のもと、ダンサーが前に立ち、数十名の生徒と数名の先生がバレエの歴史、踊りの基礎などを学ぶ。
  - ・身体の基本的な動き、リズム体操(リトミック)、ストレッチなどを実施し、身体の可能性について実際に体験。
  - ・普段見られないバレエの稽古風景、小品集を鑑賞。
- 【二時限目】
- ・3グループくらいに分かれて、バレエの小品の振付を覚え、実際に発表し見せ合う。
  - ・また、本公演に出演する10数名の生徒を選んで踊りを覚えてもらい、本公演当日、バレエ団と共演。

その他ワークショップに  
関する特記事項等

ご参考:過去のワークショップ



※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人 貞松・浜田バレエ団 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		2F以上可(エレベーター必須)		主幹引き込み電源容量		100 A以上	
舞台設置面積	間口	10 m		奥行	4.5 m		
	高さ	不問 m					
舞台設置場所	フロア対応	不可		学校のステージでの対応		可	
搬入間口の広さ	幅	2 m		高さ	2 m		
遮光の要否	5割程度必要		緞帳の要否			必ず必要	
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
			ピアノを使用しない場合の移動の要否				要
搬入車両(トラック等)の横づけ	必須		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			10 m以内	
搬入車両の種類	中型トラック		台数	1 台			
搬入車両の大きさ	車幅	2.3 m		車長	8.5 m		
備考							

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。					
	会場図面の提出要否	要					
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)						



時間 外 対 応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	15分程度	ワークショップ実施時間外において各自(休み時間や自宅での個人練習等を想定)	ワークショップ内に振り付けた2分ぐらいの踊りの練習	共演者のみ(体験者は不要)CDをお渡ししますので共演者全員で音楽を流して(可能であれば舞台上)練習をお願い致します
	ワークショップ					
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	1時間程度	本公演前日の午後	衣裳合わせ 共演部分のリハーサル	共演者のみ(体験者は不要)
	本公演					

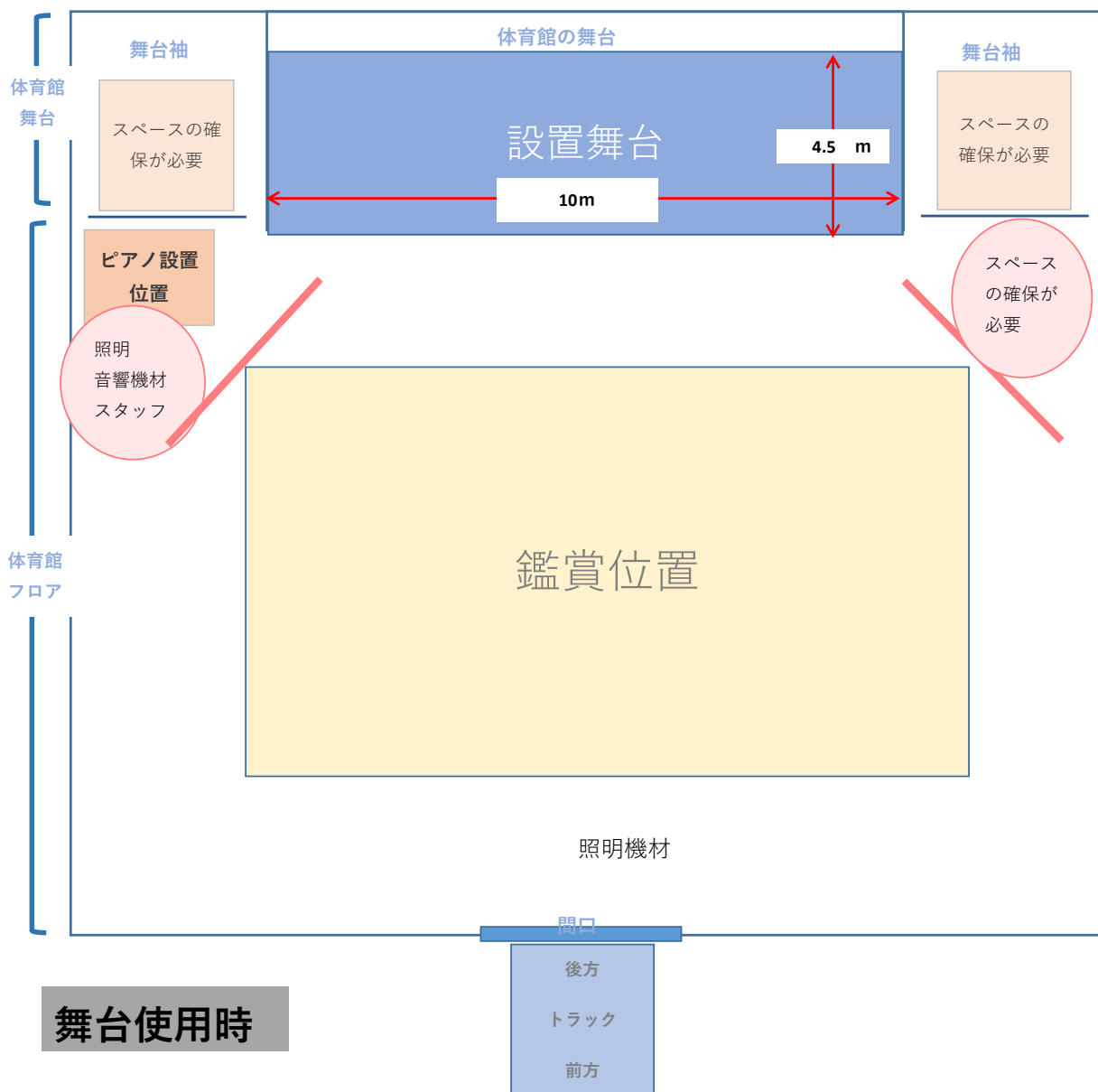
個別 確認 事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	4tトラック1台と中型バス2台の駐車場
	2	トラックの横付けが難しい場合は、搬入経路に屋根があるのが望ましい(衣裳・道具等搬入の為)
	3	舞台上のピアノは舞台の下へ移動

(任意)

会場条件について最低限必由条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面





別添

なし

【公演団体名 一般社団法人 貞松・浜田バレエ団 】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【本事業を通じて実現したいこと】

貞松・浜田バレエ団は1965年に創設され、「**上質なバレエを提供することで豊かな心を育む**」という基本理念のもと、関西を代表するバレエ団として地域の活性化に取り組んでいます。バレエ芸術を通じて市民の生活に活力を与えることを目的としていますが、特に「次の世代を担う子どもたち」に向けた視聴覚教育としての公演に力を入れています。子どもたちが舞台を通じて創造力を育み、感性を磨き、心豊かに成長していくことを願っています。

私たちは、バレエを通して生きる喜びを感じてもらい、より充実した人生につながる体験を提供していきたいと考えています。

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

当団では、振付のみならず音楽・衣装・照明といった舞台要素が加わることで、一つの作品が総合芸術として成立していく過程を体感できるよう、プログラムを構成しています。これにより、バレエの本質を子どもたちにわかりやすく伝え、舞台芸術への理解を深めることを目的としています。

具体的には、バレエダンサーの日々の基礎訓練の様子を紹介することから始まり、世界各国の舞踊、動物を題材とした親しみやすい作品、古典バレエの名場面、さらには当団独自の創作作品まで、多彩な演目を組み合わせています。これにより、子どもたちが日常生活で親しんでいる題材と芸術的表現をつなげると同時に、舞台芸術が持つ幅広い表現の可能性を実感できる構成としています。

こうした取り組みを通じて、子どもたちがバレエに触れることによって創造力を養い、感性を磨き、豊かな情操を育むことを目指しています。その成果として、芸術を単なる鑑賞対象として捉えるのではなく、自己表現や社会との関わりを広げる契機として体験できる教育効果を期待しています。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

## 【学校との連絡調整について】

学校公演用の打ち合わせ表を用意しており、初めて公演を行う学校でもスムーズに分かりやすく必要事項を打ち合わせできる様に工夫しております。

また、当団体内に巡回事業専任の担当者と専用のメールアドレスを設置し迅速な対応を可能にしております。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

公演中は長時間の鑑賞となるため、熱中症対策として冷房器具や扇風機を活用し、こまめな換気に努めております。また、トイレ休憩に加えて、ゲーム感覚で体を動かす軽い体操を取り入れた適度な休憩を設けることで、後半も集中してご鑑賞いただけるよう工夫しております。また、公演に参加する学生たちは前日のリハーサルにも参加しますが、授業時間や体育館の利用状況を考慮し、無理のないよう優先的にスケジュールを立てるよう心がけています。

## 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

公演後にはクラシックバレエに関する資料や任意のアンケート用紙を配布し、鑑賞体験を一過性のものにとどめず、継続的な学びへとつなげています。これにより、児童が自らの感想を振り返りながら、バレエや芸術に関する知識や理解を段階的に深めていく機会を提供します。さらに、このような取り組みを通じて、芸術鑑賞に伴う「難しさ」や「距離感」を和らげ、子供たちがより主体的に、そして親しみをもって芸術に関わる姿勢を育むことを目指しています。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名 一般社団法人 貞松・浜田バレエ団 】
(一社)貞松・浜田バレエ団 役員・メンバー表 (様式No1,No2)	【一般社団法人 貞松・浜田バレエ団】 役員・メンバー表	
	【理事長】 貞松 融	
	【理事】 貞松正一郎(芸術監督) 堤 悠輔(総監督) 堀部 富子(公演記録) 長尾 良子(制作) 小西 直美(会計)	
	【幹部団員】 浜田 蓉子 井 勝 川村 康二 芦内雄二郎 小西 康子 上村 未香 松良 朋子	
	【団員】 正木 志保 竹中 優花 佐々木優希 武用 宜子 廣岡 奈美 福田 咲希 清田 奈保 上山 榛名 松尾 珠里 宮本 萌 名村 空 井上ひなた シャンティ紀奈 山本 小海 清野 早紀 水速 飛鳥 小澤日向花 高橋 涼 松原 光里 松山 遙月 中山 和馨 安田 夏空 高橋 柚胡 武藤 天華 大門 智 水城 卓哉 幸村 恢麟 小森 慶介 後藤 俊星 切通 理夢	
	【制作】 重富 尚子 松井 雅子	
	【団員(補)】 奥野 恵美子(指導助手) 名村 育子(会計助手) 根岸 佳(指導助手)	
	《専門スタッフ》外部	
	【監査】 佐藤 敏充 (佐藤敏充税理士事務所 代表)	
	【指導】 塩谷 奈弓 真忠久美子 富村 京子	
	【事務助手】 植木千枝子 堤 貴美子 谷村さやか 川原 美夢	
	【ウェブ担当】 黒田 健介	
	【照明】 加藤美奈子	
	【美術】 湊 謙一	
	【舞台監督】 坪崎 和司 今田 満和	
	【音響】 津田 和志	
	【衣裳】 木下 正子 木下 夕果	
		(総64名)

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.7-①	【公演団体名 一般社団法人 貞松・浜田バレエ団 】
様式No7-①	※1 舞台費、人件費は資材高騰により費用が前回に比べ増額となっております。	
	※2 「その他費用」に計上しております「電源車」の計上事由  ① 学校の電源を使用する場合、仕込みの際に、電源を一度落して取る必要があるが、近年セキュリティの関係や他の教室と共通の分電盤を使用している場合が多くあり、全ての電源を落とすことが不可能な為。 電源が入った状態でするのは安全面でも非常に危険な行為であり、大事故につながる可能性が有る為。  ② 新しく工事された体育館では安全面が強化されており簡単に電源を取れないように施工されていることがあり、電源を落とせても取れない事がある為。  ③ 学校によっては電源の場所が遠く、安定した電圧がないので、音響器材に影響が出てしまう為。  ④ 学校によっては必要電源が足りなくなる事がある為。 近年、地球温暖化や熱中症対策の為、体育館で扇風機や冷風機を使用する学校が増えている為、電源容量が足りなくなる事が多い。 (今までは冷房などの使用を控えて貰っていたが、近年の地球温暖化や熱中症等の問題は深刻で、生徒の体調面を配慮すると冷房等の使用は必要不可欠と考えます)	